

新春餅つき大会は大盛況

平成24年度新春もちつき会は1月13日（日）午前10時～12時、森の公園で開催されました。

3日前の天気予報では、1月13日は雨でした。大した降りにはならないような話でしたが、雨量が少なくても雨降りの中、屋根のない場所で餅つきしたらどうなると思います？ そんな悲惨な状況は考えたくありません。で当日はどうなったでしょう。よい天気になりましたね。関係者の心配をよそにもちつき会は無事実施されました。五ツ又の住民の普段の心がけのよさでしょうか。ただし悪天候は一日延びたよう



で、翌14日は朝からの大雪。新成人には迷惑な話でしたが。

さて、もちつきスタッフは、次の通りでした。もちつき班は山越副会長と橋本青少年育成部部長が班長をつとめ、実働部隊は壮年ソフト部、グランドゴルフ部、まつり保存会、青少年育成部でした。もち丸め班は前田副会長が班長、青少年育成部15名、親和会ほか有志が担当しました。

豚汁は根本副会長と中川体育部長が班長で体育部理事が担当、受付は総務部担当で班長の三井総務部長以下、総務部理事が担当しました。

お呼びした近隣自治会の役員はおおよそ13名でした。

開場は午前10時でしたが、9時半を過ぎたころには子どもを中心に人が集まりだし、10時になって餅つきが始まったころにはすでに餅配りテントの前は黒山の人だかり。にもかかわらず寒さでなかなか蒸れないもち米を前に、餅つき班は餅ならぬ気をもんでいました。

用意されたもち米は50キロ、コーティングは、あんこ（つぶあん・こしあん）、きなこ、からみの4種。これらは完売でスタッフ用にいきわたらず、実は終了後まかない用の裏メニューでスタッフが急遽製作した一般非公開の役得「みたらし団子のたれ」もありました。参加者数はチェックしておりませんが、自治会外のお子さんも多くこられ、参加者は推定400人。欲をかいた広報部の見方では500人はいましたぞ。気温は低かったもののお陽さまは暖かく、つきたてのお餅はとってもおいしく、楽しい一日となりました。来年も乞うご期待！

会場の様子は写真から思い出してください。



新春もちつき会決算

収入		支出	
当初予算	¥200,000	原材料 もち米50kg・野菜	¥ 85,055
ご祝儀	¥ 38,000	会場費 飲み物	¥ 21,500
		備品 発泡どんぶり・フードパックなど	¥ 29,530
		その他 返礼品・機材借用料	¥ 36,510
		残高	¥ 65,405
合計	¥238,000	合計	¥238,000

北小ウィング6年生を送る会

2月10日（日）10時～11時40分、高階北小体育館で平成24年度の「6年生を送る会」が開催されました。開催日はもとは9日（土）だったのですが、高階中の制服寸法どりと日程が重なったため、この日に延期されました。参加者は112名うち25名が6年生でした。

プログラムは次の通りです。

- 新井五ツ又自治会長挨拶
- ビンゴ大会



ビンゴカードの上にリーチが4つもある子がいましたね。早くリーチしたのに「ビンゴ」と言えたのは半分以上の人が上がったその後でした。ご心配なく賞品は全員に行きわたりました。ただ賞品を選ぶ制限時間は10秒間、選び悩む機会は1回ぐらいだったかな。

- シューマイじゃんけん

ジュニアリーダーのお姉さんがあらかじめ5つのジェスチャーを決めておきます。その形はシューマイに包み込む具材を表現します。例えば海老シューマイなら腰を後ろに折ってかかと立ちします。じゃんけんの合図で5つのうちのひとつをリーダーが示します。このとき対戦相手はジュニアリーダーと同じ格好をしてはなりません。つまり負けです。

- 紙デッポウ（折り紙）作り

昔懐かしい、紙デッポウを作りました。隅を持って振ると袋の中に空気が入ってふくらみパンと音がするあれです。遊んだあと紙デッポウを捨てないでバッグにしまう姿がかわいい。

- 6年生へ記念品贈呈と代表あいさつ

6年生には図書券が配られました。これに対し、6年生の代表からお礼と五ツ又ウィング後輩たちへの激励がありました。

<3ページにつづく>

6年生にとって五ツ又ウイングとしての活動は今日が最後です。でも五ツ又まつりや餅つき会など自治会の行事は続きます。皆さんは中学校に行ってからそのあとは、何かと忙しい時間をこれから長く過ごすこととなりますが、どうか、これからも五ツ又の行事に力をくださいね。



※前ページの集合写真はホームページ上からダウンロードできます。ご利用ください。

五ツ又地区内の犯罪

2月3日、五ツ又自治会理事会に川越警察署から市に出向されている2名の警察官においでいただき出前講座を開催していただきました。砂新田1～6丁目はきわめて犯罪発生が少ない場所ですが、皆無ではありません。

昨年度、埼玉県は犯罪の発生で全国第4位だそうです。ただ川越市では平成15年の統計によると、それまでの10年間にと較べて3.8倍もの増加をしているおり、さらに増加傾向にあるとのこと。

犯罪として一番多いのは圧倒的に窃盗です。その中で侵入盗は12.3%、街路での窃盗（自転車盗難・ひったくりなど）は40%に達しています。

ひったくりは最近増加している事件で、女性の被害者が多いとのこと。物が強奪されるならまだしも転倒して大怪我を負うことがあります。バッグを肩からタスキ掛けするという防御方法も身の安全からみると進められる方法ではないようです。

自転車の鍵は安価なキーではドライバー1本で開錠します。ディンプルキーに替えましょう。価格は1000円強しますが。

侵入盗は侵入までの時間や侵入したことが認識されないことに注気を配ります。門扉が開いている、玄関灯がついていない、植え込みがジャングルになっている、夜洗濯物が取り込まれていないなどの条件が彼らの確認事項になります。一度入って味を占めると同じ家を襲うこともあるようです。

振り込め詐欺も今後増加しそうな傾向です。ここまでは三芳・富士見での被害が多かったのですが、これからは川越市が標的になりそうとのこと。

ところで高階地区での防犯情報を得る方法をご存知ですか。地区内の犯罪発生や不審者出没などの情報を川越警察署から送ってくれます。受信するには登録する必要があります。携帯電話・パソコンからkawagoe.bouhan@mpme.jpに空メールを送ると、登録完了です。ご利用されてはいかがでしょうか。

盗まれた物の価値もさることながら、悔しいし、気持ち悪いし、被害者にはトラウマが残ります。これが辛い。

子どもたちが糞害してます？？

地区内で犬や猫の糞尿で迷惑している人がいます。表題は他の自治会の掲示板にありました。この言葉、あちこちで使われているキャッチフレーズのようなものです。上品とはいええない言葉です。でもダジャレで言ってるのではありません。ただこの一言で誰もが問題を認識できる秀逸な言葉として流布しているのでしょう。

それほどこの問題は日本だけでなく世界中でも問題視されているようです。改善策が見つからずフランスでは街の美化のためにやむを得ず自治体が回収しているとのこと。

糞尿はいただいて決して嬉しいものではありません。その昔、武器として敵の籠城している城中に投げ入れたこともあるようです。目的は伝染病を発生させるため、いわゆる生物化学兵器のはしりです。

家畜の糞尿など放っておけば消えるものであるとお思いの方がいるかもしれませんが、そう思えない方もいるでしょう。価値観の違いがトラブルの素。インターネット上の書き込みでは生物化学兵器として使うような犯罪すれすれの仕返しを勧める人もいます。

人間関係の方がよほど大事です。たかが犬猫の糞尿で関係が壊れるとはよほど怖いことと思いました。そうならないようにまずは放置しない処置を考えましょうよ。

砂新田自治会21区分割

砂新田自治会第21区（亀山 薫理事）は全戸数44戸を数える大所帯でした。これだけになると主に回覧などによる連絡の徹底に支障が出てきます。そこで来年度から21区は「21区」と「21-2区」に分割されます。

21区は36・38番地で安藤美紀理事…所帯数30戸、21-2区は39番地で亀山薫理事…所帯数14戸となります。

五ツ又資源回収 実績が55万円突破

自治会の平成24年度最後の第8回資源回収は平成25年3月24日（日）です。午前8時半には各地区指定のステーションにお持ちよりください。9時ころには回収業者が回ります。

平成24年度第7回の実績は91,917円で、1～7回までの資源回収からの収入は、552,103円でした。60万円まではあと5万円、この調子でいくと65万円はいきますね。

この収入は自治会の各行事、ボウリング大会、五ツ又まつり・敬老の日の集い・グラウンドゴルフ大会・新春もちつき会などを開催に充てられます。自治会年会費の値上げを抑えている重要な収入です。ぜひお出しください。

話題

春をさがしに行きましょう

今年は例年に較べいつまでも寒い毎日が続きます。平年より3～5度も低い気温にはもう飽きました。でも日差しは毎日確実に強くなっています。五ツ又では、蠟梅が2月半ばには咲き終わりましたし、続いて沈丁花、梅、雪柳もつぼみを開き始めています。気象の予報では桜は3月末には開花、4月初めには満開だそうですから、今年も春は確実にきます。

風さえなければ日向は暖かです。そんな日を選んで散歩でもしてみますか。花を愛でるなんて言うのは風流でしょ。でも花より団子という方もいらっしゃいますでしょう。あぜ道に食べられる雑草が結構生えています。畑地にはヨモギ、水田にはセリが見受けられますよ。食べられそうだと採集したくなります。でもこれらは誤食する毒性のある草に似ているのでご注意ください。ヨモギはトリカブト、セリはドクゼリです。毒性が強いですから気を付けてください。日本中で毎年誤食事故が続いています。

次の号で絶対安全、でも山形以外では誰も食べない野草をご紹介します。米沢藩の中興、上杉鷹山公が広めたもので、人間あたりでは「ゴンベ」と呼んでいる迷惑野草です。もう少し暖かくなならないと出てきませんからお待ちください。